

二日市東コミュニティ運営協議会設立趣意書

筑紫野市は、昭和30年に二日市や山口など一町四村が合併し筑紫野町となり、昭和47年に市制を施行して今日に至っています。

筑紫野市の有する歴史・文化は古く、福岡、筑後、飯塚、長崎方面を相互に結ぶ交通の要衝にあり、福岡都市圏の拡大と共に急速に都市化してきました。

特に、ここ二日市東地域は、昭和31年に開校された二日市東小学校を取り囲む旧二日市町と旧山口村の一部であった13の行政区からなり、鉄道各駅や国道、県道が縦断し路線バスが運行するなど交通の要衝の名にふさわしい地域で、既存の市街地に加え、早くから団地開発や集合住宅建設などが行われてきた住宅系の地域です。

近年、この地域においても生活を取り巻く環境も変貌し、高齢化の急激な進展、住民ニーズの多様化などから人と人の「つながり」の希薄化など多くの課題を抱えています。

二日市東コミュニティ運営協議会は、この地域に暮らす地域住民が少子高齢化や地域コミュニティの弱体化などが進行する中でこれまで各行政区で熱心に取り組まれた地域活動を基盤として、小学校区という視点で各種団体の連携強化を図り、協働によるまちづくりを進める地域の中核となる自治組織として、ここに「二日市東コミュニティ運営協議会」を設立するものです。

平成26年12月14日

二日市東コミュニティ運営協議会設立準備委員会

会長 林田正義